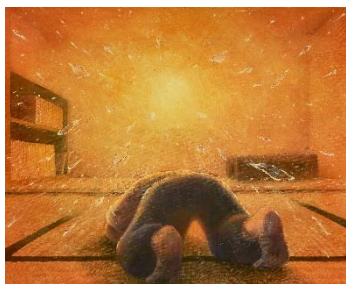


平和資料室特別展

高校生が描いた「原爆の絵」展



▲『恐怖の中を姉と共に逃げる』 森容香さんの証言をもとに、武原明歩さん制作



▲『閃光』 小川美波さん制作
広島平和記念資料館 所蔵

広 島での被爆者の証言を元に、広島市立基町高校の生徒が制作した「原爆の絵」（原画1点、複製画約20点）を展示します。何度も打ち合わせを重ね、制作された絵は、戦争の悲惨さを克明に描き出しているものばかりです。絵画を通し、平和の尊さや戦争の悲惨さについて、考えてみませんか？

8月6日(土)~18日(木)

午前9時30分~午後7時

(金曜休館。土日祝、最終日は午後5時まで)

枚方市立中央図書館 1階

平和資料室 **入場無料**

(枚方市車塚2-1-1 京阪バス「片鉾・中央図書館前」下車すぐ)

平和の語り部

「核兵器のない世界へ」

8月6日(土)

午前2時~3時

要予約

先着20人

市ホームページの専用フォームより申し込み。インターネット環境のない方は人権政策室へお問い合わせを。



市ホームページ

昭和20年8月6日午前8時15分、広島市に原子爆弾が投下されました。現在、枚方市にお住まいの森容香さん(82歳)は当時5歳。爆心地から1.8kmの自宅です。被爆し、その惨状を目の当たりにしました。今回は自らの体験を証言し、制作された絵画とともに、戦争の悲惨さや平和の尊さについて語っていただきます。

森容香さん
ようこ

